

—街路樹と御池ビオトープを守り育てる—
まちなかオアシスだより

令和4年3月4日発行

〔実施日〕 令和4年3月4日(金) 9時30分から11時まで

〔参加者〕 木村、走り、東谷、斉藤（4名：敬称略）

〔ビオトープの整備・育成活動〕

〔作業内容〕

＜西のエリア＞

- ◇ 自生の樹木が高さ2m前後(太さも直径4～5cm)に育ち、このままでは手に負えなくなるので、そのような樹木が3本ある中で、先ず1本を根元から切り取ってもらいました。
- ◇ 「なじみの野草ゾーン」に菜の花が固まって育っていたので、株分けして中央のエリア及び東のエリアの「なじみの～」に植えてもらいました。

＜東のエリア＞

- ◇ ここの「なじみの野草ゾーン」を次のように整備しました：
 - ◆ 実がなっているマンリョウをゾーン内へ移植
 - ◆ 茂り過ぎるきらいがあり空間を支配しがちなヤブランとヒメヒオウギスイセンをゾーンの外へ移植
 - ◆
- ◇ 次回の整備：

茂り過ぎたり、背丈が高くならず、且つ季節には美しい花を付ける植物で、できれば冬場にも緑を維持してくれる野草またはごく低い木を配置〔例えば、レンゲ、ヒオウギ、スイセンなど〕



＜東＞マンリョウと菜の花



＜中央＞ 菜の花



＜中央＞開花直前スイセン

ゴミ（回収した植物と落ち葉）の量：ボランティア袋3袋、樹木片1袋

発行：まちなかオアシスの会
（構成：市民、近隣事業所、NPOビオトープネットワーク京都）
発行日：令和4年3月4日

【御池ビオトープは御池通りの室町～衣棚通り（北側）歩道にあります】